

令和6年4月5日

情報開示文書（オプトアウト文書）

「神奈川県精神科救急医療システム経由で当院に入院となった外国人患者に関する研究」
へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センターでは、神奈川県精神科救急医療システム経由で当院に入院された外国人および日本人の患者さんを対象に、電子カルテに記載された診療録を用いて両者を比較検討し、精神科救急医療の介入を要す外国人患者さんの特徴を調査する研究を実施しています。この研究は、今後増加すると予測される外国人患者さんの治療方針の決定や回復支援に役立つと考えております。

研究課題名	神奈川県精神科救急医療システム経由で当院に入院となった外国人患者に関する研究
研究の対象	当院で導入している日本語版患者記録（BADO：Basis Dokumentation）を用いて、2016年4月1日～2023年3月31日までの間に神奈川県精神科救急医療システムで当院に入院した患者さんを対象とします。
研究の目的・方法 （試料・情報の利用目的及び利用方法）	精神科救急医療システム経由で入院する外国人患者さんに対する調査研究を行うことで、今後増加すると予測される外国人患者さんの臨床的特徴を理解することです。ただし、患者さん個人が特定されないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーには十分配慮します。
研究期間	承認日～2024年5月31日まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療録情報（年齢、性別、診断名、重症度、入院時入院形態、入院日数など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：医師 吉田 浩司
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	吉田 浩司（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年4月1日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報が外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定することはできません。

本研究は神奈川県立精神医療センター精神科内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはありません。尚、調査と研究が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら、下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等の支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先：研究責任者 医師 吉田 浩司
研究協力者 医師 森脇 久視
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel：045-822-0241